

討議資料

三浦市議会議員（無所属）

みうラボReport Vol.13

訂正版

いしざき 遊太

ゆうた



編集・発行 石崎 遊太 / 令和8年5月発行 / 南下浦町上宮田1422-4 / 080-4733-4115

令和8年第1回定例会を終えて

約1か月間にわたる令和8年第1回定例会が閉会しました。結果として、出口市長自身が「厳しい財政状況の中で自分のカラーを出せなかった」と述べた令和8年度予算案については、私はすべて賛成し、無事可決となりました。しかし会期中は、調査特別委員会における議論の空転や、出口市長のSNS発信を契機とした予算審査の中断など、議会全体として混迷の色が濃い定例会となりました。こうした事態を招いた市長の一連の認識や言動を容認することは、今後の市政運営や議会運営にも負の影響を及ぼすと考え、市長に対する決議文を提案し、賛成多数で可決されました。全会一致とならなかったことは残念に思っています。（決議文は左の二次元コードをご参照ください）

私の任期も残すところ約1年です。毎週日曜日にその週の活動記録を書き綴ってきた振り返りブログの更新は156回を数え、毎週水曜日に三浦海岸駅で続けてきた駅立ちも通算139回に達しました。見せかけのパフォーマンスや、その場しのぎのアピールに終始することなく、これからも市民の声に耳を傾けながら学び続け、地道な努力を一つひとつ積み重ねてまいります。今後ともよろしくお願いたします。



PROFILE -プロフィール-

いしざき 遊太

ゆうた

HP、各種SNSなどはこちらからどうぞ！！過去のみうラボReportもHPにアップしています。



1991年4月生まれの35歳。幼馴染の妻とともに、娘（3歳）と息子（1歳）の子育てに奮闘中。
 上宮田小羊保育園→上宮田小学校→南下浦中学校→県立横須賀高校→慶應義塾大学総合政策学部卒。
 2022年7月に約7年間勤めた大手食品メーカーを退職し、三浦市へUターン。地域活動に取り組む。
 2023年4月の市議会議員選挙にて、1960票の得票をいただき2位で当選。2025年7月に副議長就任。



料理歴30年の素人レシピ

Zaki's recipe



材料

※3~4人前

- | | | | | | | | | | | | |
|-------|------------|----------|---------|----------|------------|-------------|------------|----------|-----------|------------|-------|
| ・米 2合 | ・タケノコ 120g | ・そら豆 15粒 | ・海老 10尾 | ・玉ねぎ 中1個 | ・お湯 1000ml | ・コンソメ顆粒 大匙1 | ・白ワイン 50ml | ・バター 30g | ・粉チーズ 40g | ・オリーブ油 大匙3 | ・塩 適量 |
|-------|------------|----------|---------|----------|------------|-------------|------------|----------|-----------|------------|-------|

作り方

1. タケノコとそら豆は下茹でをしておく。海老は殻と背ワタを取り除いておく。
2. フライパンでみじん切りにした玉ねぎをオリーブ油で薄く色付くまで炒める。（弱火）
3. 下処理した海老と白ワインを加え、中火で2分ほど炒める。海老は取り出しておく。
4. 同じフライパンに米を洗わずに加え、油が回るまで1~2分ほど炒め合わせる。（中火）
5. コンソメをお湯で溶き、まず200mlほど加えて軽く混ぜながら炊いていく。（中火）
6. 水分が少なくなってきたら少しずつコンソメを加えながら、15分ほど炊き続ける。
7. タケノコ・海老・バター・粉チーズを加え、1~2分混ぜ合わせる。
8. 米が好みの固さになったら塩で味を調える。器に盛り、仕上げにそら豆をのせる。

この季節らしい食材を使ったリゾットを考えてみました。コンソメスープは、少し薄いと感じるくらいの濃さにして、できれば熱い状態で少しずつ加えてください。個人的な感覚としては、米2合に対してコンソメスープは1L、トータルで20分くらいの加熱でアルデンテに仕上がります。

今回は食材の風味を生かすため、ニンニクは使わず、チーズも控えめにしています。鍋につきまきりにはなりますが、意外と短時間で簡単に作れるので、ぜひ試してみてください。



お手伝いに夢中な娘

みうらみらいラボ 会員募集中

みうらみらいラボは、代表・いしざき遊太との対話を通じて、会員同士で「三浦の今と未来について考え合う」ことを目的とした政治団体です。詳細および入会のお申し込みにつきましては、右の二次元コードよりご確認ください。お電話にて入会のご意思をお伝えいただく際は、以下の情報をお知らせください。

- ①お名前 ②ご住所 ③お電話番号 ④（あれば）メールアドレス
 上記をお伝えいただければ、入会手続きは完了です。

なお、市内在住の会員の皆様には、『みうラボReport』を毎月お届けいたします。



質問の全体像

私が行った令和8年第1回定例会における一般質問の項目は、下記のとおりです。

1.現状の行政運営について

- (1) 市長公約の進捗状況と実現にむけた取組
- (2) 副市長不在の影響と認識

2.総合教育会議の問題点について

- (1) 総合教育会議の位置づけ
- (2) これまでの合意形成プロセス
- (3) 会議運営のあり方

発言の全文については、私が文字起こししたものをブログに見やすく掲載しております。かなりの分量になっていますが、気になる点だけでも拾い読みしていただけたら幸いです。下記二次元コードをご参照ください。



コチラの二次元コードより
発言全文をご覧になれます



いしざき遊太 一般質問

現状の行政運営について

出口市長が新市長として就任してから約8か月が経過した時点で、昨年6月の選挙で掲げた公約が、どの程度実現に向かっているのか、その認識を質しました。答弁では、YouTubeでの定例記者会見やSNSの積極的な活用、みうら市民懇談会の開催など、情報

発信強化の取り組みが進められていることが確認できました。この点は私自身もさらに力を入れていくべきだと考えている政策領域であり、改善の余地はあるものの、率直に評価したいと思います。また、災害備蓄の強化についても、令和8年度予算に関連経費が盛り込まれ、この点では前進が見られました。

一方で、公約全体を見れば、いまだ検討段階にあるものや、具体的な動き・進捗が見えてこなかったものが大半です。もし軌道修正が必要な部分があるのであれば、それも包み隠さず市民や議会に示したうえで、前向きに取り組むことを求めました。

そして、現在の行政運営における大きな問題が、副市長の不在です。市役所という大きな組織の運営でも、市民生活に直結する政策判断を進める上でも、副市長の役割は極めて重要です。とりわけ、出口市長に政治経験・行政経験がないことを踏まえれば、なおさら欠かせない存在であると言えます。

答弁では、副市長不在の影響により、人事考課が本来の手順で行われていないことが明らかになりました。特に部長級職員13名については、副市長が担うべき評価工程を経ないまま、自己評価が最終的な考課として扱われたとのこと。また、副市長が担う裁決についても主管部長による代決が続いており、部長級職員にとっての心理的負担も相当なものと考えられます。副市長が担うべき部門横断的な政策調整の機会も失われており、現状は理事・政策部長・総務部長の3役がこの部分をなんとか補っている状況であることもわかりました。さらに、来客対応や出張、各種行事への出席といった対外的な役割についても、従来どおりの対応が難しくなっており、対外的な情報収集や意見交換、要望聴取の機会が減っていることは明らかです。

副市長の対外折衝実績(令和6年度)

項目	件数	内訳	
来客	86件	官公庁関連	32件
		市内外の各種団体および関連企業	54件
出張	31件	県および出先機関	16件
		国や近隣市町村等	15件
		(うち市長代理)	6件
行事出席	24件	(うち市長代理)	5件

副市長の選任権は市長にしかありません。出口市長には、副市長不在の責任を議会に転嫁することなく、そのリスクの甚大さを自覚した上で、今定例会中に人事案を提出するよう強く求めました。結果的に人事案は示されず、この問題は解消されないまま新年度を迎えることとなりました。

総合教育会議の問題点について

総合教育会議は、市長と教育委員会が教育行政の重要施策について協議・調整を行う重要な場であり、原則として公開の形で行われる会議です。市長就任後初となるこの会議が、令和8年2月13日に行われました。教育を重点政策に掲げながら、当初から教育委員会との見解の乖離が明らかとなる中、出口市長がなぜもっと早くこの場を設けなかったのかはさておき、今回の会議運営には、明らかに看過できない問題が散見されました。

市長の発表資料に関する時系列整理

12月19日	教育総合会議の開催と方向性を提案 教育大綱と三崎地区の小学校再編を議事の大枠とする。
1月29日	市長が発表の時間を設けることを打診 市長自らが資料を作成し、発表することが決定。
2月9日	資料提出の締切設定日 事務局から要望されていた締切日には提出が行われず。
2月10日	資料の提出(1回目) 内容について、市長部局との調整が行われていないことが判明。資料が市長の私見であることの記載が必要に。
2月11日	祝日
2月12日	資料の提出(2回目) 全ての資料に市長個人の認識と意見であることを明記。確定資料として教育委員会に提示。
2月13日	総合教育会議当日

① 事前準備と調整能力の欠如

当初、教育大綱と三崎地区の小学校再編の協議が議題として定められていましたが、市長の求めにより追加でプレゼンの時間が設けられました。ところが、市長は資料提出の期日を守れず、最終的な資料の確定は会議の前日であったことが判明しました。しかも、その資料には「市長個人としての見解である」という趣旨が記載されており、市長部局との十分な調整が行われていなかったことも明らかになりました。公的な会議に持ち込まれる資料としては、準備や庁内調整が不十分であり、会議運営のあり方そのものに大きな課題があったと考えます。(左下の時系列参照)

② 議長としての役割認識の不足

会議では2時間という限られた予定時間の中で、市長のプレゼンとその関連議論に多くの時間が費やされました。その結果、特に喫緊の課題である三崎地区の小学校再編の議題については、具体的な協議が十分に深まらないまま会議が終わりました。議長としての議事整理や役割認識にも疑問が残りました。

③ 教育の政治的中立性の懸念

長い年月をかけて作り上げられた教育ビジョンの記述について、市長は「貧弱である」といった強い評価的表現を用いながら、教育委員に対して修正を繰り返し求めました。教育長からも、市長の物言いが否定的かつ高圧的で、怖さすら感じた旨の答弁がありました。主張の内容以前にこのような感情を抱かせてしまう態度自体が問題であり、市長は会議の制度趣旨や教育の政治的中立性に関する理解が欠如していると言わざるを得ません。

これらは決して教育分野に限った話ではなく、現在の市政運営の根底にある問題です。就任から8か月が経とうとしていたこの時期においても、市長としての現状認識や統治能力に大きな課題があることがわかりました。市長には、その責任の重さを自覚し、今すぐ改善に向けて行動するよう求めました。